

GS米ドル建て 社債ターゲット 2023-09 (為替ヘッジなし・ 限定追加型・ 早期償還条項付)

愛称：ドルロード
2023-09

追加型投信／内外／債券



※「ドルロード」は商標登録出願中です。

お申込みの際は、必ず「投資信託説明書(交付目論見書)」をご覧ください。「投資信託説明書(交付目論見書)」は販売会社までご請求ください。

■本資料はゴールドマン・サックス・アセット・マネジメント株式会社(以下「当社」といいます。))が作成した販売用資料です。投資信託の取得の申込みにあたっては、販売会社より「投資信託説明書(交付目論見書)」をお渡しいたしますので、必ずその内容をご確認のうえ、ご自身でご判断ください。■本ファンドは値動きのある有価証券等(外国証券には為替リスクもあります。)に投資しますので、基準価額は変動します。したがって、元金が保証されているものではありません。■本資料は、当社が信頼できると判断した情報等に基づいて作成されていますが、当社がその正確性・完全性を保証するものではありません。■投資信託は預金保険機構または保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。■銀行等の登録金融機関でご購入いただく投資信託は、投資者保護基金の支払対象ではありません。■投資信託は、金融機関の預金と異なり、元金および利息の保証はありません。■投資した資産の価値の減少を含むリスクは、投資信託をご購入のお客様が負うことになります。

■ 投資信託説明書(交付目論見書)のご請求・お申込みは

■ 設定・運用は

 広島銀行

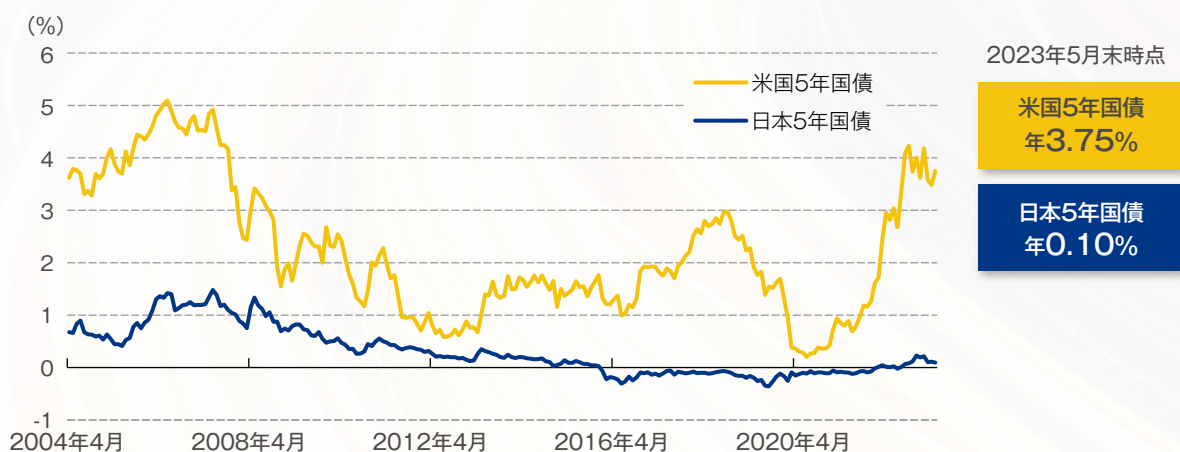
商号等 株式会社広島銀行
登録金融機関 中国財務局長(登金)第5号
加入協会 日本証券業協会 一般社団法人金融先物取引業協会
(2307広告審査済)

ゴールドマン・サックス・アセット・マネジメント

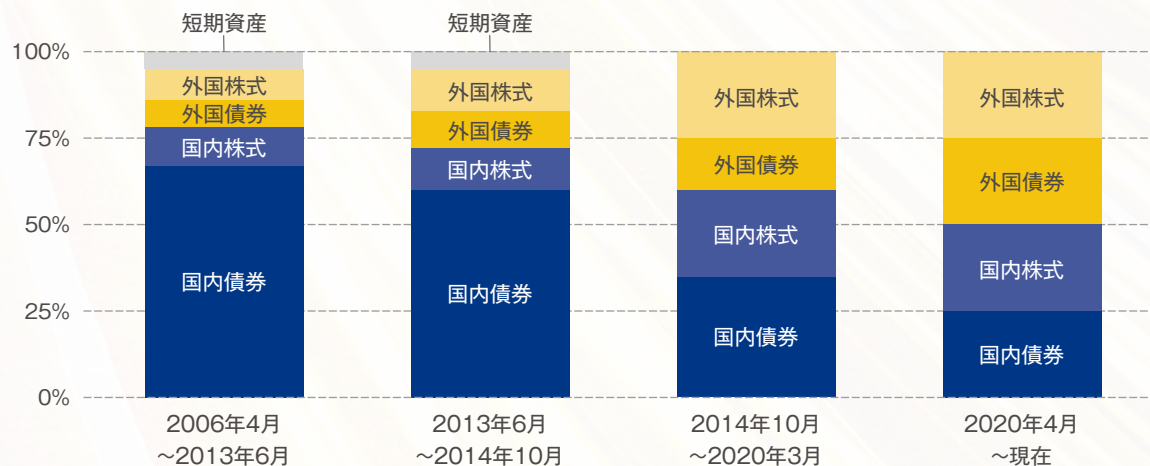
商号等 ゴールドマン・サックス・アセット・マネジメント株式会社
金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第325号
加入協会 日本証券業協会 一般社団法人投資信託協会
一般社団法人日本投資顧問業協会
一般社団法人第二種金融商品取引業協会

日本の低金利が継続するなか、
海外の相対的に高い金利水準に
目を向けてみませんか。

日本と米国の国債利回りの推移



日本の公的年金における資産構成推移



[上図]期間:2004年4月末～2023年5月末 出所:ブルームバーグ
[下図]時点:2023年5月現在 出所:年金積立金管理運用独立行政法人 資産構成は各期間における目標値です。
上記は過去のデータであり、将来の結果を示唆または保証するものではありません。

ファンドのポイント

- 1 信託期間約5年の限定追加型の投資信託です。
- 2 主に日本を含む世界の企業等が発行する米ドル建て債券（ハイ・イールド債券を含みます。）を投資対象として「持ち切り運用」*を行います。
- 3 原則として為替ヘッジは行いません。
- 4 ファンド設定から3年後の2026年9月8日以降に基準価額（1万口当たり。以下同じ。）が12,500円以上となった場合は、安定運用に切り替え、繰上償還します。

※基準価額が12,500円となった場合は、組入債券の売却を行い、安定運用に切り替え、3か月以内の委託会社が指定する日または2028年10月10日のいずれか早い日をもって信託を終了します。
※安定運用とは、ファンドが保有する債券等を順次売却し、円建ての短期有価証券や短期金融商品等による運用を行うことをいいます。
※市況動向等によっては安定運用への切り替えを速やかに行うことができない場合があります。

本ファンドでは、主に米ドル建て債券に対し、
為替ヘッジを行わずに「持ち切り運用」*を行うことで、
海外の相対的に高い金利水準の恩恵を得ることをめざします。

*「持ち切り運用」については3頁をご覧ください。

※外貨建資産については、原則として為替ヘッジを行わないため、基準価額は為替の変動による影響を直接受けます。

市況動向や資金動向その他の要因等によっては、運用方針に従った運用ができない場合があります。

信託期間約5年の限定追加型の投資信託です。

◆ 信託期間約5年の限定追加型の投資信託として、2023年9月8日に設定し、2028年10月10日を満期償還日とします。

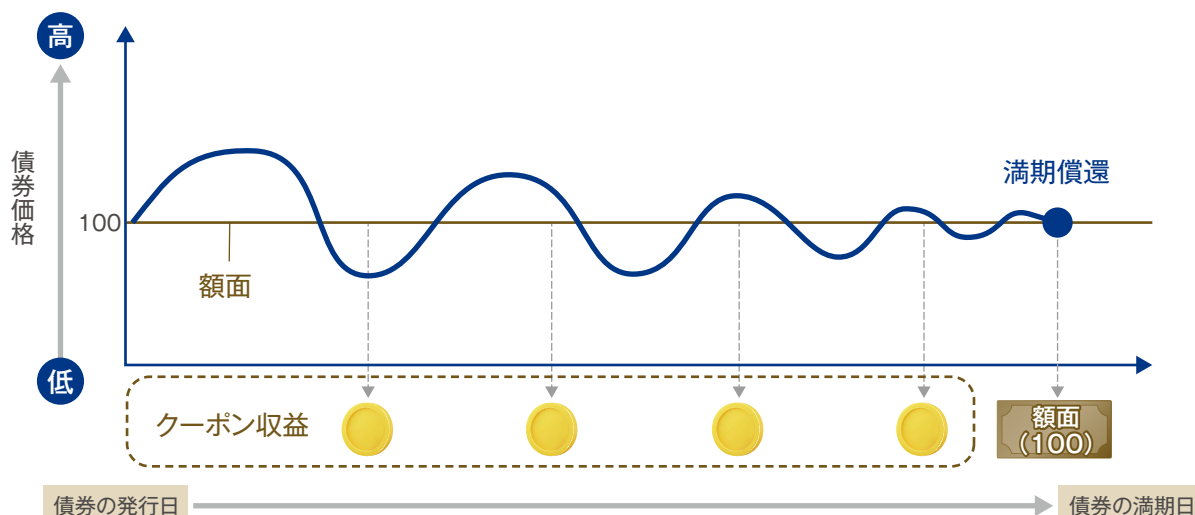
ただし、2026年9月8日以降、一定の条件を満たした場合、早期償還（繰上償還）します。早期償還については、詳しくは5頁をご覧ください。

◆ 本ファンドでは「持ち切り運用」を行い、満期償還時において債券価格の変動による影響を抑制しつつ、クーポンの積み上げを中心としたリターンの獲得をめざします。

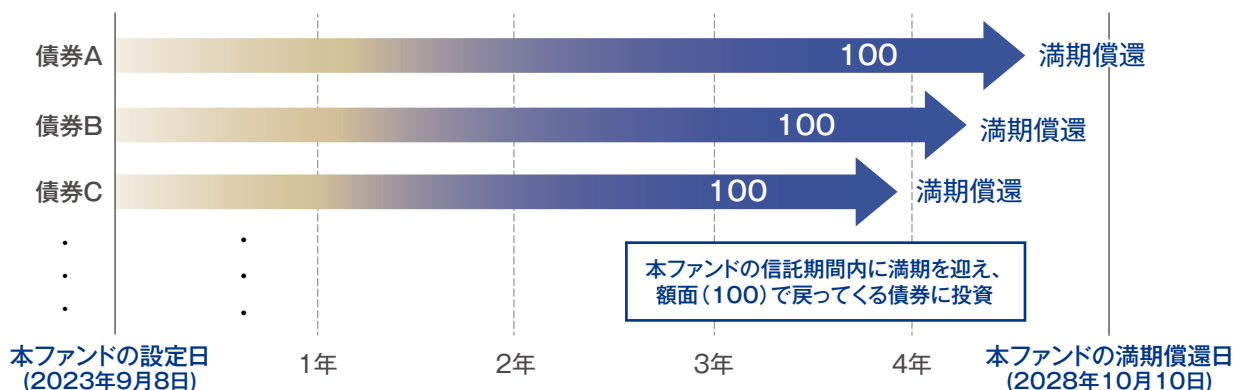
「持ち切り運用」とは

- 債券は一般に、発行時の条件に従って定期的にクーポンが支払われ、満期日には額面金額が支払われます。（図①）
- 本ファンドでは、原則として信託期間内に満期を迎える債券に投資し、各債券の満期日まで保有する「持ち切り運用」を行います。（図②）

■ 図① 債券価格の動きとクーポン収益のイメージ図



■ 図② 「持ち切り運用」のイメージ図



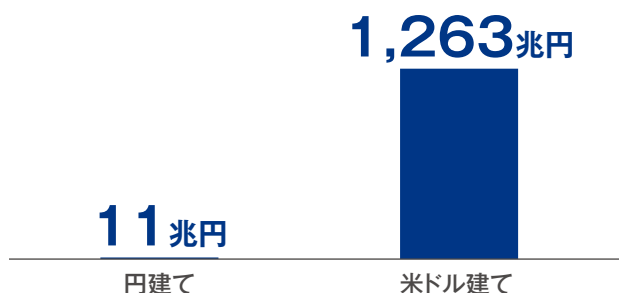
上記は額面が100の債券のイメージ図であり、デフォルトとなった場合等を除きます。本ファンドでは、額面を上回る/下回る価格で債券を購入する場合があります。本ファンドの運用においては、組入債券の満期前であっても、運用チームの見通しが悪化した場合や、格下げが実施された場合等には当該債券の売却を行うことがあります。また、組入債券が信託期間の途中で満期を迎えた場合には、本ファンドの信託期間内に満期が設定されている債券への再投資を行う場合があります。市場環境や運用状況等に応じて、米国債等の短期有価証券や短期金融商品等に投資する場合があります。本ファンドは期中の一部解約が可能であり、解約代金の支払いに対応するため債券を満期前に売却する場合があります。その場合、上記のような運用ができない場合があります。デフォルトとは債券を発行する企業が倒産等を理由に債券の元利金（元本およびクーポン）の支払いを停止すること等をいいます。

主に日本を含む世界の企業等が発行する
米ドル建て債券(ハイ・イールド債券を含みます。)を
投資対象として「持ち切り運用」を行います。

◆幅広い投資対象候補から、より魅力度の高い債券に投資します。

◆投資適格債券およびハイ・イールド債券に投資を行います。

世界の社債 円建てと米ドル建ての時価総額の比較



世界の米ドル建て社債市場は

1,200兆円を上回っています。

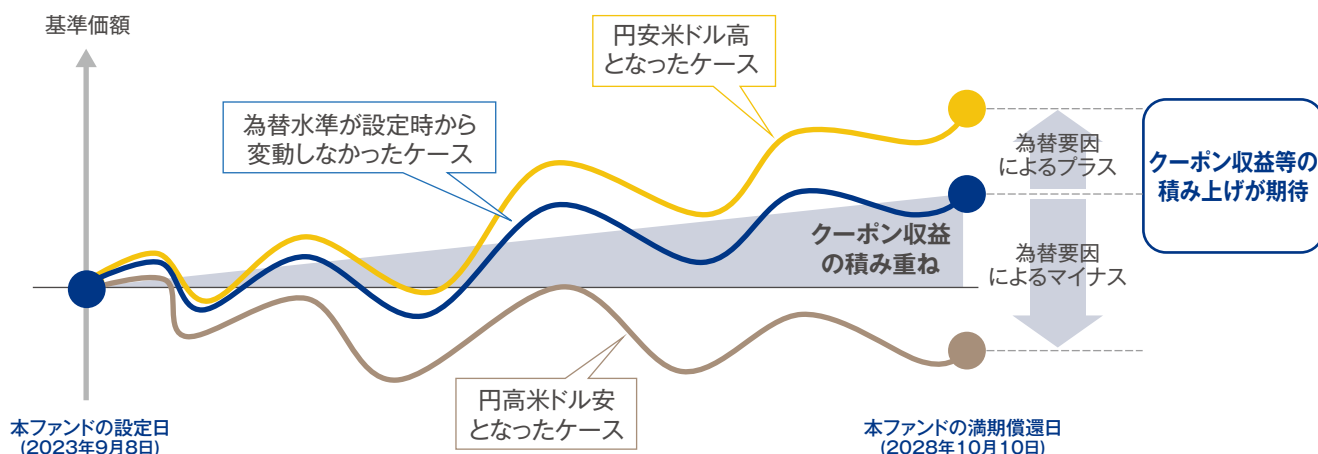
2023年5月末現在 出所:ブルームバーグ 世界の社債:ブルームバーグ・マルチバース社債指数 1米ドル=139.715円で円換算
上記は過去のデータであり、将来の結果を示唆あるいは保証するものではありません。投資適格債券およびハイ・イールド債券については「投資信託説明書(交付目論見書)」をご覧ください。

原則として為替ヘッジは行いません。

◆外貨建資産については、原則として為替ヘッジを行わないため、基準価額は為替の変動による影響を直接受けます。

本ファンドの値動きのイメージ

- 持ち切り運用を行うことにより、クーポン収益等の積み上げが期待されます。
- 本ファンドは為替ヘッジを行わないため、円安米ドル高が進展すると、為替要因が基準価額にはプラスに、円高米ドル安が進展すると基準価額にはマイナスに作用します。



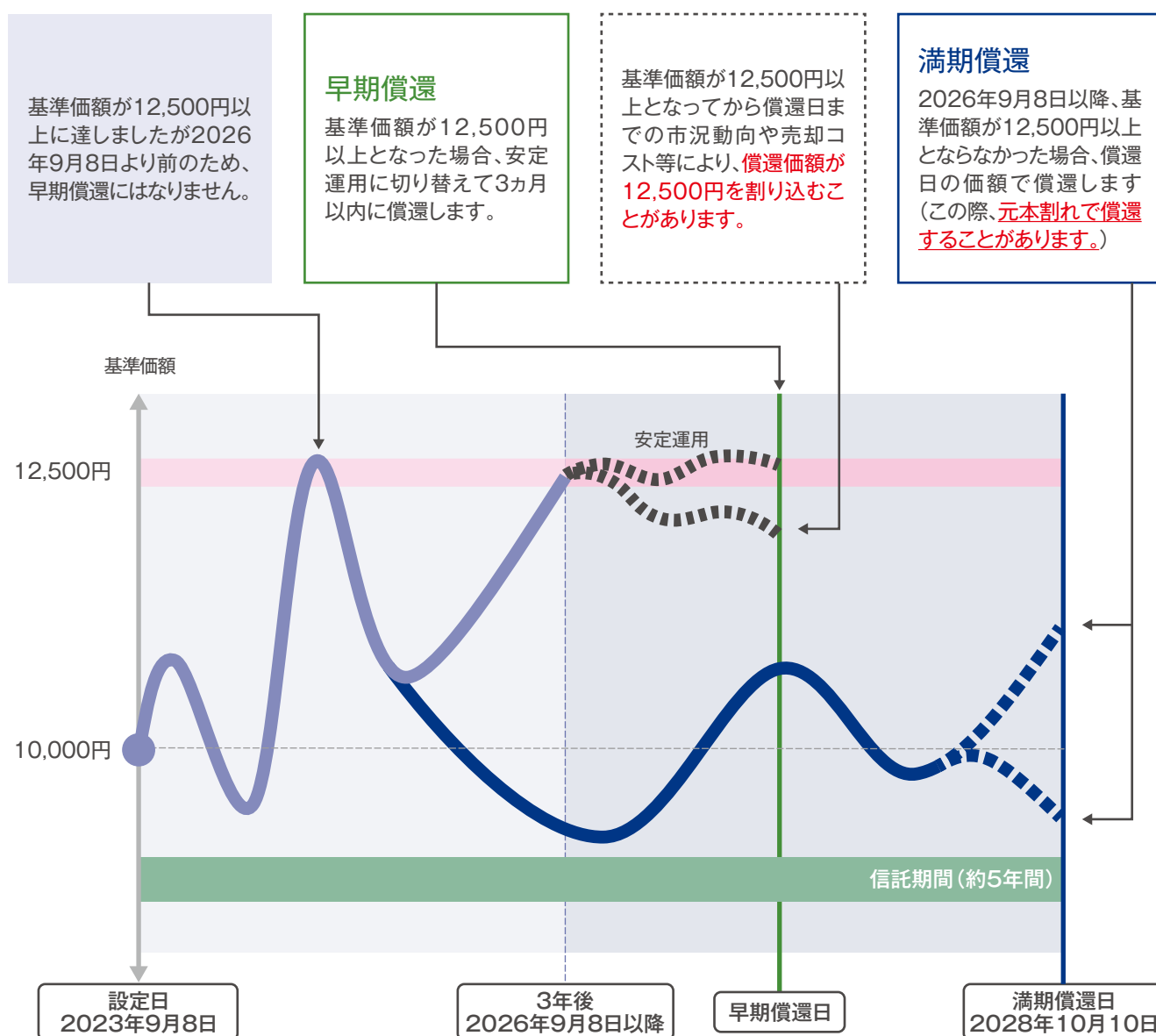
上記はあくまでイメージ図であり、実際の為替や債券の値動き、利回りの大きさを表すものではありません。実際の本ファンドの運用にあたっては早期償還する可能性があります。詳しくは5頁「早期償還のイメージ」をご参照ください。保有する債券がデフォルトとなった場合や、信託期間の途中でファンドを解約した場合などは、上記のイメージとは異なります。上記の円安米ドル高となったケース/円高米ドル安となったケースは単純化のため、設定時の為替水準よりも円安米ドル高の水準が継続したケース/円高米ドル安が継続したケースを示しています。実際には設定時の為替水準をまたいで為替水準が変動するケースもあります。

上記のイメージは本ファンドの将来の運用成果等を示唆あるいは保証するものではありません。

ファンド設定から3年後の2026年9月8日以降に 基準価額が12,500円以上となった場合に、 安定運用に切り替え、繰上償還します。

◆基準価額が12,500円以上となってから実際に償還されるまでの市況動向や売却コスト等により、基準価額もしくは償還価額（1万口当たり。以下同じ。）が12,500円未満となることがあります。

早期償還のイメージ



償還が実施される場合、早期償還、満期償還、いずれの場合も受益者によるお手続きは必要ありません。

上記は、ファンドの仕組みをご理解いただくためのイメージ図です。したがって、基準価額が12,500円に到達すること、および償還価額が12,500円以上になることを示唆または保証するものではありません。

※基準価額が12,500円となった場合は、組入債券の売却を行い、安定運用に切り替え、3ヵ月以内の委託会社が指定する日または2028年10月10日のいずれか早い日をもって信託を終了します。

※安定運用とは、ファンドが保有する債券等を順次売却し、円建ての短期有価証券や短期金融商品等による運用を行うことをいいます。

※市況動向等によっては安定運用への切り替えを速やかに行うことができない場合があります。

【ご参考】モデル・ポートフォリオ (2023年5月末現在)

モデル・ポートフォリオとは、これから運用を開始するファンドのイメージをつかんでいただくためにご紹介する仮のポートフォリオです。本ファンドの実際のポートフォリオとは異なりますので、あくまでもご参考としてご理解ください。モデル・ポートフォリオに関する情報は、本ファンドの運用開始前(2023年5月末現在)の市場環境等に基づいて作成したものです。従って、実際の組入を示唆するものではなく、本ファンドの将来の運用成果等を示唆あるいは保証するものでもありません。

■信託報酬(税込み)控除後の実質的な最終利回りのイメージ

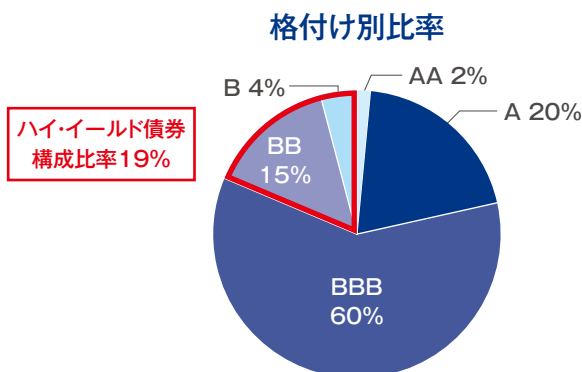
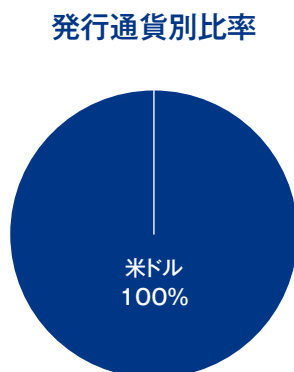
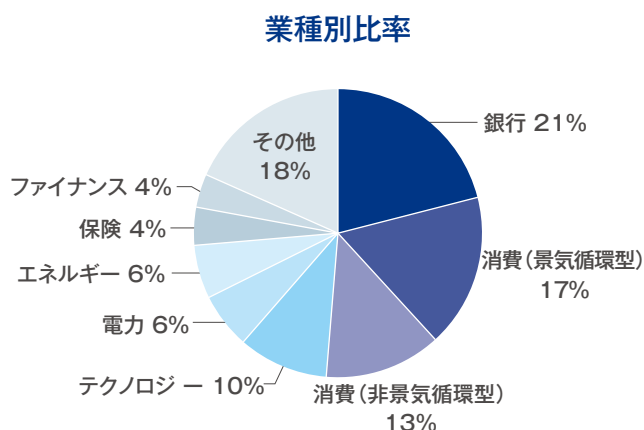
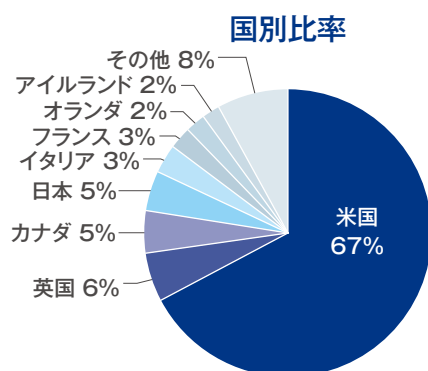


上記はモデル・ポートフォリオを基にしたイメージであり、将来の運用成果等を示唆あるいは保証するものではありません。また本ファンドの運用実績ではありません。実際のポートフォリオの組入債券の償還時期によっては上記の水準を下回ることがあります。上記は購入時手数料およびその他の費用は考慮していません。上記のイメージと比較して実際の最終利回りは、購入時手数料およびその他の費用の影響により下がりますのでご注意ください。詳細は後述の「ファンドの費用」をご参照ください。上記の数値は四捨五入しているため、合計値が一致しない場合があります。また、実際の値動きは為替変動の影響を受ける点ご注意ください。

ポートフォリオ概要

最終利回り	6.09%
平均残存年数	4.19年

銘柄数	128
平均格付け	BBB



出所:ゴールドマン・サックス・アセット・マネジメント

平均格付けとは、基準日時点におけるモデル・ポートフォリオ構成銘柄に係る格付けを加重平均したものです。各銘柄の格付けは、ムーディーズ、S&P、フィッチの3社から付与されている格付けのうち最も高い格付けを使用しています。業種は、ゴールドマン・サックス・アセット・マネジメントによる分類を使用しています。上記の比率は四捨五入しているため、合計値が100%にならない場合があります。

上記は本ファンドの運用実績ではありません。

【ご参考】モデル・ポートフォリオ (2023年5月末現在)

モデル・ポートフォリオとは、これから運用を開始するファンドのイメージをつかんでいただくためにご紹介する仮のポートフォリオです。本ファンドの実際のポートフォリオとは異なりますので、あくまでもご参考としてご理解ください。モデル・ポートフォリオに関する情報は、本ファンドの運用開始前(2023年5月末現在)の市場環境等に基づいて作成したものです。従って、実際の組入を示唆するものではなく、本ファンドの将来の運用成果等を示唆あるいは保証するものでもありません。

構成上位銘柄

発行体	国	業種	通貨	格付け	最終利回り	償還日	構成比率
ゼネラル・モーターズ・ファイナンシャル	米国	消費(景気循環型)	米ドル	BBB	5.63%	2028/1/5	2.25%
野村ホールディングス	日本	証券	米ドル	BBB+	5.74%	2027/1/22	2.00%
シンクロニー・ファイナンシャル	米国	銀行	米ドル	BBB-	7.64%	2027/12/1	2.00%
イーベイ	米国	消費(景気循環型)	米ドル	BBB+	5.11%	2027/11/22	1.75%
マテル	米国	消費(非景気循環型)	米ドル	BBB-	6.54%	2027/12/15	1.75%

銘柄紹介

ゼネラル・モーターズ・ファイナンシャル

世界各国で乗用車、トラック、自動車部品などの設計、製造、販売を展開するゼネラル・モーターズの子会社。同グループが脱炭素化に向けて生産を強化している、EV(電気自動車)の普及拡大などによる恩恵が期待される。

国	米国	業種	消費(景気循環型)
通貨	米ドル	格付け	BBB



野村ホールディングス

同グループは、世界の主要都市に拠点を有し、証券業を中心に投資・金融サービスを提供。日本における確固たるブランド力に加え、強固な資本や豊富な流動性などが、同グループの信用力を下支えすると見込まれる。

国	日本	業種	証券
通貨	米ドル	格付け	BBB+



シンクロニー・ファイナンシャル

ゼネラル・エレクトリックから独立した消費者向けサービス金融会社。特定の小売業者などのブランドを冠したクレジットカードを作成する事業に注力している。預金の成長を背景に、長期にわたって安定した資金調達を行っている点を評価。

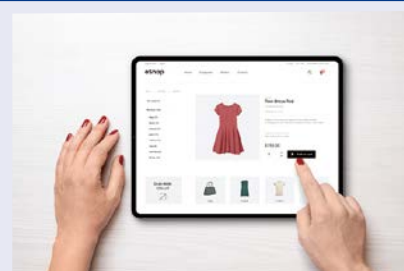
国	米国	業種	銀行
通貨	米ドル	格付け	BBB-



イーベイ

世界各国で事業を展開するEコマース会社。世界各地の売り手が複数国に向けて出品し、買い手が商品を検索、購入するためのプラットフォームを提供している。独自の決済システムや、広告ベースの収益モデルから長期的な成長が期待される。

国	米国	業種	消費(景気循環型)
通貨	米ドル	格付け	BBB+



出所:ゴールドマン・サックス・アセット・マネジメント

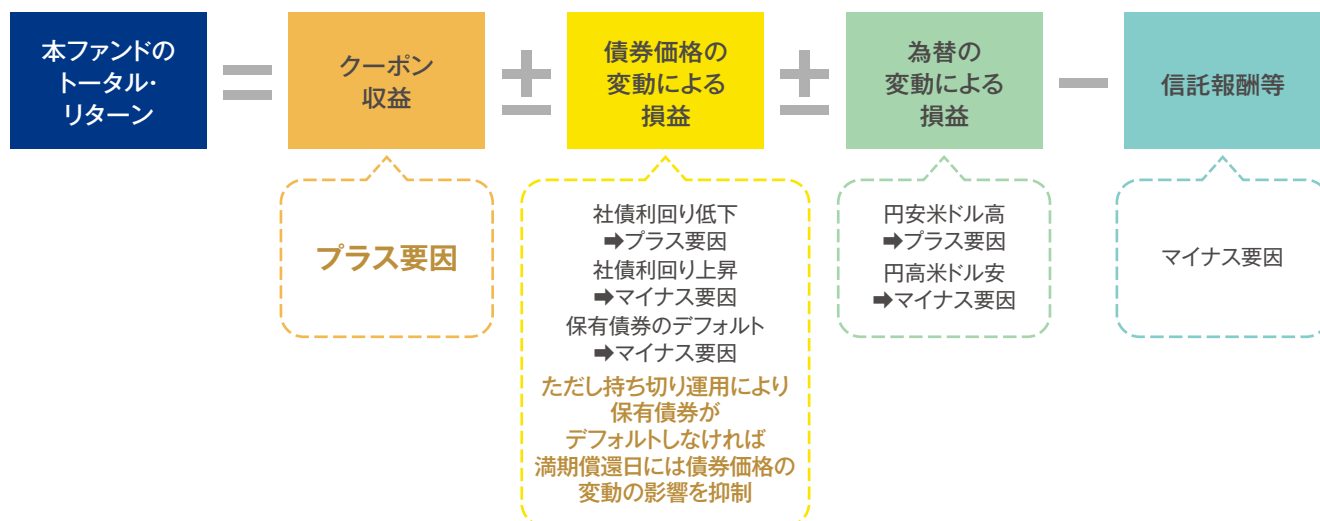
各銘柄の格付けは、ムーディーズ、S&P、フィッチの3社から付与されている格付けのうち最も高い格付けを使用しています。業種は、ゴールドマン・サックス・アセット・マネジメントによる分類を使用しています。

上記は、ファンドの運用方針に沿って選定した銘柄の例です。個別企業あるいは個別銘柄についての言及は、当該個別銘柄の売却、購入または継続保有の推奨を目的とするものではありません。上記に含まれている市場動向や個別銘柄等についてのコメントは、一般的な情報提供を目的として本資料作成時点でのゴールドマン・サックス・アセット・マネジメントの見解を示すものであり、それらの将来の動きを予測または保証するものではありません。今後予告なしに変更される可能性があります。写真はイメージです。

【ご参考】本ファンドのトータル・リターン

- ◆本ファンドでは、原則として約5年の信託期間内に満期を迎える債券に投資し、各債券の満期日まで保有する「持ち切り運用」を行います。
- ◆運用期間中のトータル・リターンは債券価格や為替の変動等によって変動するものの、債券価格の変動については満期償還時点で「持ち切り運用」により抑制することをめざします。

■本ファンドのトータル・リターンの変動要因



上記はイメージ図です。保有する債券がデフォルトとなった場合は、本ファンドのトータル・リターンにマイナスの影響を及ぼします。また、購入時手数料およびその他の費用相当分の影響によっても実際のトータル・リターンは下がりますのでご注意ください。上記のイメージは本ファンドの将来の運用成果等を示唆あるいは保証するものではありません。

ゴールドマン・サックス・アセット・マネジメントのご紹介

ゴールドマン・サックス・グループの総合力を活用し 革新的な運用ソリューションを提供

- 1988年の設立以来、世界有数の資産運用会社として、世界の機関投資家、政府系機関、個人投資家向けに約303兆円の資産を受託
- 150年超の歴史を有するゴールドマン・サックス・グループのノウハウと世界を結ぶグローバル・ネットワークを活用し、お客さまのニーズに対応したサービスを提供
- 世界約50拠点のグローバルな運用体制とリサーチ力

Goldman Sachs | Asset Management

ゴールドマン・サックス ニューヨークオフィス



グローバル債券・通貨運用グループ

「持ち切り運用」の受託実績



上記の経験年数は、ポートフォリオ構築・リスク・チーム、プロダクトマネジメント、計量ストラテジストを除きます。運用体制は、将来変更される場合があります。

類似戦略や過去に償還済みの実績も含まれます。過去の運用実績は将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。
2022年12月末現在 1米ドル=131.945円で円換算

【ご参考】

過去の米ドル対円の推移と

5年後の損失を被る可能性のある為替水準のシミュレーション

本ファンドの将来の運用成果等を示唆あるいは保証するものではありません。購入時手数料およびその他の費用は考慮していません。利回りは、購入時手数料およびその他の費用の影響により下がりますのでご注意ください。詳細は後述の「ファンドの費用」をご参照ください。また、実際の値動きは為替変動の影響を受ける点ご注意ください。下記は経済や市場等の過去のデータであり、将来の動向を示唆あるいは保証するものではありません。

- ◆以下は、為替の変動がリターンに与える影響をご理解いただくために、ご参考として掲載するシミュレーションです。このシミュレーションでは、2023年5月末に1米ドル＝139.7円の為替水準で、満期5年、年率利回りが4.29%、5.29%、6.29%*の米ドル建て債券に投資し、5年間持ち切った場合（クーポン収益の再投資、デフォルトを想定しない）の、損失を被る可能性のある為替水準を示しています。モデル・ポートフォリオまたは実際のポートフォリオのシミュレーションではありません。

*上記の年率利回りは、2023年5月末時点のモデル・ポートフォリオの実質的な最終利回りのイメージの値（信託報酬（税込み）控除後）である5.29%とその±1%の数値を例示として使用しています。本ファンドの将来の運用成果等を示唆あるいは保証するものではありません。モデル・ポートフォリオの詳細は、6頁をご覧ください。

- ◆シミュレーションは、実際の取引に基づくものではなく、投資開始時点の為替水準に大きく影響を受けます。実際の投資にあたっては、その時点の為替水準をご確認ください。



期間：2013年5月末～2028年5月末
出所：ブルームバーグ

本ファンドでは期間の経過に伴い、当初組み入れた債券は順次償還を迎えるため、クーポン収益は減少し、ファンド全体の利回りも低下することになります。そのため、債券の償還金等については、信託期間内に償還日を迎える債券に再投資することがあります。また、市況動向や残存期間等によっては、米国債等の短期有価証券や短期金融商品等に投資する場合があります。これらの債券等の利回りは当初投資した債券に比べ、低い利回りのものである可能性があります。したがって、本ファンドの償還日が近づくにつれ、ファンド全体の利回り水準が低下する場合があります。

投資リスク

基準価額の変動要因

投資信託は預貯金と異なります。本ファンドは、値動きのある有価証券等に投資しますので、基準価額が変動します。また、為替の変動により損失を被ることがあります。したがって、ご投資家の皆さまの投資元金は保証されているものではなく、基準価額の下落により、損失を被り、投資元金が割り込むことがあります。信託財産に生じた損益はすべてご投資家の皆さまに帰属します。

主な変動要因

債券への投資リスク(価格変動リスク、信用リスク)

債券の市場価格は、金利が上昇すると下落し、金利が低下すると上昇します。金利の変動による債券価格の変化の度合い(リスク)は、債券の満期までの期間が長ければ長いほど、大きくなる傾向があります。

債券への投資に際しては、債券発行体の倒産等の理由で、利息や元本の支払いがなされない、もしくは滞ること等(これを債務不履行といいます。)の信用リスクを伴います。一般に、債券の信用リスクは、発行体の信用度が低いほど大きくなる傾向があり、債券価格が下落する要因となります。債券の格付けは、トリプルB格以上が投資適格格付け、ダブルB格以下が投機的格付けとされています。投資適格格付けと投機的格付けにおいては、債務不履行率に大きな格差が見られます。

また、劣後債へ投資する場合には、劣後リスク(法的弁済順位が普通社債より劣後し、発行体の破綻時等には、他の優先する債権が全額支払われない限り、元利金の支払いを受けることができないリスク)、繰上償還延期リスク、利払い変更リスクなどがあり、価格変動リスクや信用リスクは相対的に大きいものとなります。

ハイ・イールド債券への投資リスク

一般に、ハイ・イールド債券は投資適格債券と比較して、債券発行体の業績や財務内容などの変化(格付けの変更や市場での評判等を含みます。)により、債券価格が大きく変動することがあります。特に信用状況が大きく悪化するような場合では、短期間で債券価格が大きく下落することがあり、本ファンドの基準価額が下落する要因となります。また、ハイ・イールド債券は投資適格債券と比較して、債務不履行が生じる可能性が高いと考えられます。

為替変動リスク

本ファンドは外貨建ての債券等を主要な投資対象とし、外貨建資産については、原則として為替ヘッジは行いません。したがって、本ファンドへの投資には為替変動リスクが伴います。とりわけ、円高局面ではその資産価値を大きく減少させる可能性があります。

カントリー・リスク

一般に有価証券や外国通貨への投資は、その国の政治経済情勢、通貨規制、資本規制、税制等の要因によって影響を受けます。また、新興国は先進国に比べ政治経済情勢などが不安定であり、投資環境の急変により金融市場に混乱が生じる場合があります。そのため、その国の政治、経済、社会情勢などの変化により、資産価格や通貨価値が大きく変動する場合があります、その影響を受け基準価額が下落することがあります。

留意点

早期償還(繰上償還)に関する留意点

2026年9月8日以降において、基準価額が12,500円以上となった場合、安定運用に移行し、繰上償還となりますが、12,500円は、あくまでも安定運用に切り替えるための基準であり、12,500円以上となった日の価額が償還価額になるものではありません。また、基準価額が12,500円以上となった日から償還日までの市況動向および売却コスト等によっては、償還価額が12,500円を下回ることがあります。市況動向等によっては安定運用への切り替えを速やかに行うことができない場合があります。

収益分配金に関わる留意点

分配金は、計算期間中に発生した収益(経費控除後の配当等収益および評価益を含む売買益)を超えて支払われる場合があります。したがって、ファンドの分配金の水準は必ずしも計算期間におけるファンドの収益率を示唆するものではありません。計算期間中に運用収益があった場合においても、当該運用収益を超えて分配を行った場合、当期決算日の基準価額は前期決算日の基準価額と比べて下落することになります。また、投資家のファンドの購入価額によっては、分配金の一部または全部が、実質的には元本の一部払戻しに相当する場合があります。

お申込みメモ

くわしくは「投資信託説明書（交付目論見書）」をご覧ください。お申込みの詳細については、販売会社にお問い合わせください。

購入の申込期間	当初申込期間：2023年8月21日から2023年9月7日まで 継続申込期間：2023年9月8日から2023年9月28日まで (2023年9月29日以降、購入のお申込みはできません。)
購入単位	販売会社によって異なります。
購入価額	当初申込期間：1口当たり1円(1万口当たり1万円) 継続申込期間：購入申込日の翌営業日の基準価額
購入代金	当初申込期間：当初申込期間中にお申込みの販売会社にお支払いください。 継続申込期間：販売会社が指定する日までにお支払いください。
換金価額	換金申込日の翌営業日の基準価額から信託財産留保額を差し引いた額とします。 ※信託財産留保額については、下記をご覧ください。
換金代金	原則として換金申込日から起算して5営業日目から、お申込みの販売会社を通じてお支払いいたします。
購入・換金申込不可日	2023年9月8日以降：英国証券取引所もしくはニューヨーク証券取引所の休業日またはロンドンもしくはニューヨークの銀行の休業日（以下「ロンドンまたはニューヨークの休業日」といいます。）
申込締切時間	当初申込期間：販売会社が定める時間とします。 2023年9月8日以降：「ロンドンまたはニューヨークの休業日」を除く毎営業日の原則として午後3時までとします。
信託期間	2028年10月10日まで（設定日：2023年9月8日）
繰上償還	2026年9月8日以降において、基準価額が12,500円以上となった場合、組入債券の売却を行い、安定運用に移行し、3ヵ月以内の委託会社が指定する日または2028年10月10日のいずれか早い日をもって信託を終了します。 なお、純資産総額が30億円を下回ることとなった場合等には繰上償還となる場合があります。
決算日	毎年10月10日（ただし、休業日の場合は翌営業日） ※初回決算日は2024年10月10日とします。
収益分配	年1回の決算時に原則として収益の分配を行います。 ※運用状況によっては、分配金の金額が変わる場合、あるいは分配金が支払われない場合があります。
信託金の限度額	当初申込期間：2,000億円を上限とします。 継続申込期間：3,000億円を上限とします。
課税関係（個人の場合）	課税上は株式投資信託として取扱われます。公募株式投資信託は少額投資非課税制度（NISA）の適用対象です。配当控除の適用はありません。原則、分配時の普通分配金ならびに換金（解約）時および償還時の差益（譲渡益）が課税の対象となります。

ファンドの費用

投資者が直接的に負担する費用		
購入時	購入時手数料	購入申込日の翌営業日の基準価額（当初申込期間は1万口当たり1万円）に、 2.75%（税抜2.5%）を上限 として販売会社が定める率を乗じて得た額とします。
換金時	信託財産留保額	換金申込日の翌営業日の基準価額に対して 0.3%
投資者が信託財産で間接的に負担する費用		
毎日	運用管理費用（信託報酬）	純資産総額に対して 年率0.7975%（税抜0.725%） ※運用管理費用は日々計上され、ファンドの基準価額に反映されます。なお、毎計算期間の最初の6ヵ月終了日および毎計算期末または信託終了のときに信託財産中から支払われます。
	信託事務の費用	監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用、印刷費用など信託事務の諸費用が信託財産の純資産総額の年率0.1%相当額を上限として定率で日々計上され、毎計算期間の最初の6ヵ月終了日および毎計算期末または信託終了のときに信託財産中から支払われます。
随時	その他の費用・手数料	有価証券売買時の売買委託手数料や資産を外国で保管する場合の費用等 上記その他の費用・手数料は、ファンドより実費として間接的にご負担いただきますが、運用状況等により変動するものであり、事前に料率、上限額等を表示することができません。

※上記の手数料等の合計額については、ご投資家の皆さまがファンドを保有される期間等に応じて異なりますので、表示することができません。

委託会社、その他関係法人の概要について

- **ゴールドマン・サックス・アセット・マネジメント株式会社（委託会社）**
信託財産の運用の指図等を行います。
 - **ゴールドマン・サックス・アセット・マネジメント・エル・ピー（GSAMニューヨーク）**
ゴールドマン・サックス・アセット・マネジメント・インターナショナル（GSAMロンドン）
ゴールドマン・サックス・アセット・マネジメント（シンガポール）
ピーティーイー・リミテッド（GSAMシンガポール）
（投資顧問会社）
委託会社より運用の指図に関する権限の委託を受けて、投資判断・発注等を行います。
- **三菱UFJ信託銀行株式会社（受託会社）**
信託財産の保管・管理等を行います。
 - **販売会社**
本ファンドの販売業務等を行います。
販売会社については、下記の照会先までお問い合わせください。
ゴールドマン・サックス・アセット・マネジメント株式会社
電話:03-6437-6000（受付時間：営業日の午前9時から午後5時まで）
ホームページ・アドレス：www.gsam.co.jp